

◆◆ 共同プレスリリース ◆◆

令和4(2022)年6月9日

公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館所蔵資料の一部が高精細デジタル画像でオンライン閲覧可能に ＝柳営御襖縮図、新板絵入平治物語など7点80冊(軸)＝

概要

国文学研究資料館（以下、「国文研」）と公益財団法人三康文化研究所は、公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館（以下、「三康図書館」）が所蔵する古典籍（江戸時代以前の本）の一部7点80冊（軸）の高精細デジタル化に取り組み、令和4（2022）年6月9日（木）に公開しました。

国文研は、三康図書館が所蔵する種々の古典籍をデジタル化し、「新日本古典籍総合データベース（<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>）」により順次公開してまいります。

公開される『新板絵入／保元物語』、『新板絵入／平治物語』については、三康図書館職員が作成した翻刻データも含まれています。

りゅうえいおふすましゆくず

『柳営御襖縮図』



度重なる火災によって焼失した江戸城本丸御殿内の襖（ふすま）や長押（なげし）上に描かれた障壁画の下絵を模写したもの。田安家の旧蔵本

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館
古典籍共同研究事業センター事務室 管理係
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp
TEL: 050-5533-2988 / FAX: 042-526-8883
<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館
E-mail: sanko.shinya@gmail.com
TEL 03-3431-6073
FAX 03-3431-6082
<https://www.sanko-bunka-kenkyujo.or.jp/>

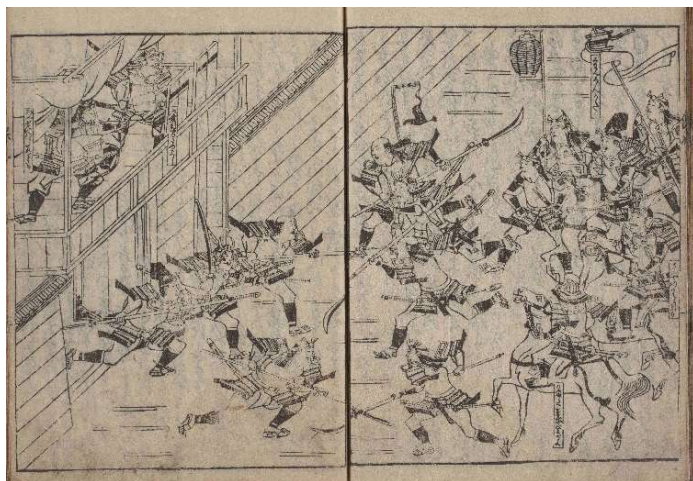
公開資料のご紹介

ぶがくしょうそくず
『舞楽装束図』



舞楽装束（ぶがくしょうそく）とは、日本の雅楽に用いる装束。所蔵本は多様な舞楽装束、舞楽面、文様、楽器等を彩色で描いた絵巻で、田安宗武旧蔵の貴重本

しんばんえいり／ほうげんものがたり
『新板絵入／保元物語』



しんばんえいり／へいじものがたり
『新板絵入／平治物語』



保元物語は、平安時代末期（12世紀後半）の「保元の乱」を取材した軍記物語で、『平治物語』、『平家物語』、『承久記』とあわせ四部合戦状（四部之合戦書）とも称される。

たいままだらしよ
『當麻曼陀羅疏』



増上寺を開山した聖聡（しょうそう）が、応永34（1427）年に當麻寺に伝わる曼陀羅を拝したことに始まり、その後、元興寺の智光曼陀羅、超昇寺の清海曼陀羅を拝すなど曼陀羅研究を重ね、その成果として著されたもの。

公開サイト：新日本古典籍総合データベース：
<https://kotenseki.nijl.ac.jp>

三康図書館所蔵の公開作品リストはこちらから
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-sank.html>

◆◆ 共同プレスリリース ◆◆

令和4(2022)年6月9日

三康図書館および国文学研究資料館のご紹介



三康図書館は、昭和39(1964)年に増上寺と西武鉄道が共同で設立した、インド学・仏教学に関する研究調査を行う公益財団法人三康文化研究所の附属図書館で、昭和28(1953)年に閉館した大橋図書館の旧蔵書18万冊余を継承して設立されました。三康図書館の前身となった大橋図書館は、明治35(1902)年に、当時日本有数の出版社であった博文館の創設15周年記念事業として、博文館の創立者である大橋佐平・新太郎父子が私財を投じて設立した私立の公共図書館で、「大橋」は創立者の姓に由来します。蔵書には、江戸時代の版本・写本や、近代の児童書、学習参考書、博文館の発行した図書・雑誌など多数の稀覯本が含まれています。

なお、令和4(2022)年は大橋図書館が開館してから120年目の節目の年となり、種々の記念事業が開催される予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

【公益財団法人三康文化研究所 ホームページ】

<https://www.sanko-bunka-kenkyujo.or.jp/>

【公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館 ホームページ】

https://www.sanko-bunka-kenkyujo.or.jp/sanko_tosyo.html



国文学研究資料館は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。

平成26(2014)年度からは、人文系では初の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」がスタートしており、国文研が中心となって国内外の大学等と連携し、日本語の歴史的典籍のデジタル化と、国際共同研究ネットワークの構築を推進しています。

【国文学研究資料館 ホームページ】

<https://www.nijl.ac.jp/>

【日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画】

<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>